

Hab. Hôkotô, ♀, 20 VI 1923, Coll. R. Takahashi.

本種は臺灣本島に於ては普通種である。

Fam. **ANTHOPHORIDAE** スヂハナバチ科(新稱)

Anthophora zonata Linné. アラスヂハナバチ

Hab. Hôkotô, ♀, VI 1928, Coll. S. Issiki.

本種は臺灣本島に於ては極めて普通種である。

臺灣産同翅目の新種に就きて

加 藤 正 世

Descriptions of some new Formosan Homoptera.

Masayo Kato.

著者の所蔵する同翅目若干の新種及び未記録種を記載す。和名種名は總て新稱なり。

Family **MEMBRACIDAE** 角蟬科

Tricentrus elongatus n. sp. ホソコツノゼミ

(Pl. fig. 3, a, b.)

(♂) 光澤ある黒色、粗大の點刻及び淡褐絹様の短毛を装ふ。

頭部は中高、後縁は稍弧状を呈す、頭長は複眼間の幅に等し。額片(dlypeus)は細長く先端は匙状に擴大し、淡褐色の長毛を密生す。複眼は圓く黄褐色、大、著しく凸出す。單眼は淡黄褐色、複眼の中心を連ねる假想線の上方に位し、間隔は複眼より單眼に至る距離よりも僅かに廣し。

前胸背の角状凸起(suprahumeral horns)は甚だ短かく薊状にして先端は後方に向ふ。後部凸起(lateral process)は細く、三稜形を呈し、先端は腹部の約三分の二に達す(前翅の内縁角には達せず)。

前翅は翅脈共に淡黄褐色、半透明、著しく光澤あり、翅底黒色、點刻を装ふ、翅底に近き脈は稍暗色を帯ぶ。

體下黒褐、觸角淡褐、胸下の兩側に金色の短毛を密生す、肢は黄色。

體長 5mm. 角状凸起間の幅 1.2mm. 體幅 1.5mm.

產地 花蓮港。

Maurya laticornis n. sp. ツノナガトビイロツノゼミ

(Pl. fig. 1, a, b.)

(♀) 褐色、光澤を缺く、深き點刻及び淡褐色の稍長き短毛を装ふ。

頭部は中高後縁は著しく外方に彎曲して略山形に凸出す、前縁の兩側は少しく波状に屈曲し、額片の基部は略四角形に凹入す。額片は細長、兩側縁は平行し先端は匙状に擴がる、前縁は裁斷状なり。複眼は暗褐色、單眼は複眼の後縁を連ぬる線上に位し、間隔は複眼より單眼に至る距離に等し。

前胸背前縁の直後は甚だしく凹陷す、中央の縦隆起線(median carina)は高し。角状凸起は甚だ大にして角の前縁は略中央部より後方に弧状に彎曲し、端直なる後縁と合す、頂角は略直角にして、裏面には頂角より發する一隆起線ありて中央附近に於て消失す。(後部凸起は破損せる爲め記載不能)。

前翅は翅脈と共に褐色、不透明、肢は褐色、體下にクリーム色の短毛を密生す。

體長 5.5mm. 角状凸起間の幅 3mm.

產地 阿里山。

Gargara dorsimacula n. sp. モンキマルツノゼミ

(Pl. fig. 2, a, b.)

(♂) 黒褐色、微細なる點刻及び淡褐色の短毛を密に装ふ。後部凸起の大部分は淡黄褐色なり。

頭頂は略四角形にして扁平、後縁の曲線は弱し。額片は細長く、先端は著しく匙状に擴がる。複眼暗褐單眼淡褐、是れは複眼の後縁を連ぬる直線の直下に位し、單眼間の幅は複眼より單眼に至る距離よりも大なり。

前胸背の縦隆起線は低くして淡褐、後部凸起は三稜形なれども著しからず、先端を除き大部分淡褐色、此の部分の點刻は黒褐色、先端は前翅の前縁角に達す。

前翅は殆んど透明、翅底黒褐、翅脈は暗黄、縦脈は暗色(個體に依りては前縁に並行せる數脈のみ暗色なるものあり)。

體下黒褐、胸下の兩側に絹様の短毛を密生す、肢は淡黄。

體長 5.5mm. 體幅 1.7mm.

產地 阿山里。

Gargara marginata n. sp. クロヘリマルツノゼミ

(♀) 形狀前種(G. dorsimacula)に類す。體はチョコレート色にして粗大の點刻を装ふ。

頭部黒色、金色の短毛を粗に装ふ、頭長と複眼間の幅とは略等しく、後縁の中央及び前縁の兩側は略端直、額片は基部と先端とは殆んど等幅先端は少しく圓し。複眼黒褐、單眼は淡褐、後者は前者の中心を連ぬる直線の稍上方に位し、單眼間の幅は複眼より單眼に至る距離よりも僅かに大なり。

前胸背の縦隆起線は明かにして比較的幅廣し。後部凸起は三稜形、先端は鋭く黒色、腹部の三分の二に達す。前胸背の前縁(廣く)及び側縁(狭く)は黒色に隈取らる。

前翅は淡黄、殆んど透明、翅底、亞前縁脈の外方及び翅脈は黒褐、但し前縁脈の外半、翅底附近及び横脈を中心として其の兩側の翅脈は淡褐色。

體下黒褐、胸下の兩側に白毛斑を装ふ、肢及び口吻は褐色。

體長 6mm. 體幅 2.3mm.

產地 新高山。

Gargara alboapicata DISTANT. ツマジロマルツノゼミ

1907 *Gargara alboapicata*, Dist. Faun. Brit. Ind. 66. 2206.

(♀) 黒色、微細なる點刻を装ふ、元來金色の短毛を装ふものなれども余の標本には殆んど之れを缺く。

頭頂は略長方形、後縁は弧狀に彎曲す。額片は先端圓形に擴り、周圍は細く隆起す。複眼は黄褐色、大、單眼は淡褐色、前者の後縁及び中心を連ぬる二直線の中に位し、間隔は複眼より單眼に至る距離の略二倍に等し。

前胸背の縦隆起線は細けれども判然す。側縁角は著しく凸出す(約¹⁰⁸度)。後部凸起は三稜形にして先端は鋭く、前翅の内縁角に達す、側面より見る時は、中央部は蒲鋒形に隆起す。

前翅の地色は黄褐色、不透明、内縁角の三角紋及び翅端はクリーム色、半透明、翅底は可成り廣く黒色、點刻を装ふ、横脈附近を横切るV字形の一紋(内縁角の附近より二又して前縁に達す)及び内片上の大なる一紋は暗色なり。

體下、黒色、肢は黒色なれども膝、脛節の外端及び跗節は褐色なり。

體長 3.7mm. 體幅 1.7mm.

產地 阿里山(未記録種)。

外國に於ける分布 Tenasserim, Myitta.

Family MACHAEROTIDAE 刺泡吹科

Hindoloides formosana n. sp. マルトゲアハフキ

(Text fig. 1, a, b, c, d, e, f.)

(♀) 頭部の幅(複眼を含む)は前胸背の略半に等しく、又頭長に等し、額(front)は著しく肥大し、半球狀に凸出し、先端は少しく下方に向ふ、長さは頭頂の略二倍半、幅は複眼間の幅の半に等し。頭頂の長さは幅の四分の一に等しく、兩側は多少凹陷す。觸角は前縁、複眼と額との中間より發す。頰(gena)は幅狭くして新月形を呈し、額片は前肢の基部に、口吻は中肢の基部に達す。

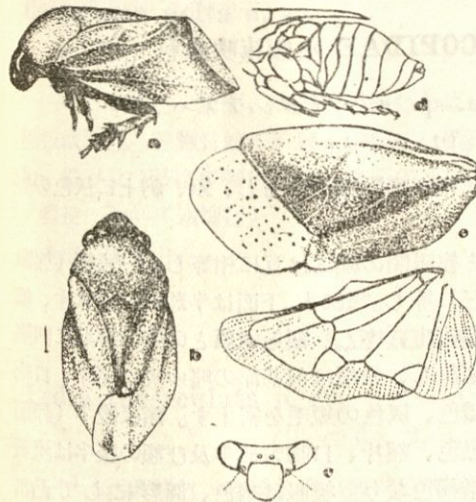


Fig. 1

マルトゲアハフキ(著者原圖)

前胸背は大、半球狀に膨起す、長さとは幅は略等しく、頭長の約二倍に等しく、側縁角は鈍角(約¹¹⁰度)にして、此の角の頂點間を結ぶ假想直線の前半は五邊形にして、頂頭及び夫れを隣れる角は著しき鈍角なり、後縁の中央は約¹¹⁵度の角を以て内方に割らる。小楯板(scutellum)は細長く前胸背

と同長にして基部に於ける幅の約三倍あり、先端は鋭く尖り、腹部の半に達す。前翅は革質、一見半翅目(Heteroptera)の夫れに酷似し、著しく中高にして、内外兩片の境は甚だ深く谷狀を呈す、外縁(marginal membrane)は廣く、全面積の四分の一を占む、此の部分は膜質にして静止の際は革質部との境より折れ曲りて他方の翅を覆ふ。翅脈は甚だ不明瞭にして膜質部を除き大なる點刻を密布す。後翅は膜質翅脈は完全なり。

後肢の脛節に外方に大なる三刺を具へ、又跗節は扁平にして前端の兩側に一刺を具ふ。

體赤褐色、額、頭頂の大なる一紋及び複眼は淡褐色にして頭頂の中央に

位し、單眼間の幅は複眼より單眼に至る距離の半よりも僅かに大なり。

前胸背は稍暗色を帯び、淺き横皺を具ふ、周圍及び中央の縦條は赤褐色なり。小楯板は淺き點刻を具ふ。

前翅は膜質部を除き琥珀色、不透明、膜質部は半透明なり。後翅は透明、翅脈は殆んど無色なり。

體下及び肢は黒褐、後肢の基節及び附節は暗色なり。

體長 5mm. (翅端迄)

產地 阿里山。

Family CERCOPIDAE 小頭沫吹蟲科

Caloscarta formosana n. sp. ホソコガシラアハフキ

(Pl. fig. 4.)

(♂) 黒色、體及び前翅上に粗大の點刻を密布し、頭、胸上に灰色の短毛を粗生す。

頭部前縁は拋物線形、頭長と複眼間の幅とは互に相等しく、頭幅(複眼を含む)は前胸背の約四分の三に等し。額は大、下面は半球狀に膨大す、幅は複眼間の幅の半、長さは頭頂の半に等し、額と頭頂との境は谷狀に凹陷す。額片は三角形にして中央膨起し、先端は前基節の略中央に達す、口吻は中肢の基節に達し、前半は暗色、灰色の短毛を密生す。額は後半(顔面より見て)を除きて光澤ある黒色、額片、口吻の前半及び額の後半は淡黃褐を呈す。頬は新月形にして暗褐色なり。複眼は暗色、圓形にして凸出し、單眼は紅色にして複眼の中心を連ぬる線上に位す、其の間隔は著しく狭く殆んど單眼の直径に等し。觸角は頭部前縁の直下より發し基部は甚だ太し。

前胸背は六邊形、長さは幅の半分よりも僅かに大、中央は多少膨起し淺き横皺を具ふ、側縁は細く暗灰色を呈す。小楯板は稍正三角形に近し。

前翅は黒色、不透明粗大の點刻を密布し、微細の灰色毛を装し、翅脈は不明瞭なり。後翅は透明、翅脈は明瞭なり。

體下及び肢は暗色、前中腿節の基半、後脛節の外半及び附節は黃褐色、灰色の短毛を密生す。

體長 5mm. (翅端迄)

產地 能高山、霧社、

Caloscarta basi-rubra n. sp.

アカネホソコガシラアハフキ

(♂) 體の構造は全く前種 (*C. formosana*) と同様なるも、前胸背の側縁は細く暗黄色、前翅底(小楯板の約二倍の面積あり)は赤褐色なるを以て明かに區別し得べし。

體長 6mm. (翅端迄)

產地 阿里山。

Caloscarta delta n. sp.

アカイロホソコガシラアハフキ

(♀) 赤褐色。頭部、前胸背の前縁を底邊とする大なる倒三角紋及び小楯板は黒色。前胸背竝に前翅上の細毛は黃褐色。顔の後半は光澤ある黃褐色、體下及び肢は黒褐色、但し腿節の基半部は黃褐色。

體長 7mm. (翅端迄)

產地 阿里山。

Family LEDRIDAE 耳蟬科

Ledra tuberculata n. sp. コブミ、ヅク

(Text fig. 2, a, b, c.)

(♀) 汚黄綠色、暗褐色の小紋及び顆粒を散在す。

頭部は扁平にして複眼の少しく前方より鈍三角形に凸出す、長さは幅(複眼を含む)と略等し、前縁は幅廣く暗色、單眼の前方及び斜面側に向つて發する不明瞭なる暗色紋を裝ふ、淡黄色の微細なる顆粒及び褐色の稍大なる顆粒を散在す。複眼は短かき柄を有し褐色、單眼は紅色にして凸出す、之れは複眼の前縁を連ぬる線上に位し、間隔は複眼と單眼との幅よりも僅かに狭し。

前胸背には全く耳狀の凸起を缺き、複眼の後方は凹陷す。後縁は廣く暗綠色、中央部褐色、其の兩側に外方に向へる新月形の一黒紋あり、不規則なる横皺竝に褐色の顆粒を散在す。小楯板は暗色、中央にへ狀の凹線を具ふ。

前翅は半透明、滑石様の光澤あり、翅脈は著しく隆起し淡黄色、所々に

褐色の部分を交の、翅底より約三分の一、稍中央の翅脈上に一箇の大なる瘤あり、是れは黒色にして中央は淡褐色なり。此の瘤の前方に白色の斜帯を具へ、静止の際は八字形を現はす。

顔は暗黄、額は黄色、頬、頭部の前縁及び額の兩側に發する一横帯は黒色、頬片は暗色。體下及び肢は淡黄褐色、脛節の外半並に附節は暗綠色なり。

體長 12mm. (翅端迄)

產地 蕘箕湖。

Tituria fuscipennis n. sp. ウスグロヒラタミ、ヅク
(Pl. fig. 5, a, b.)

(♂) 黄綠色、前翅に暗褐色。頭部の前縁は鈍角を爲して複眼の少しく前方より凸出す、頭頂は扁平、少しく前方に傾斜し、前縁は僅かに上反す、頭長は後縁の殆んど半分なり、點刻及び中央に一縦隆起線を具へ、點刻は周圍に至る程緻密なり、又周圍は褐色を帶ぶ。複眼は暗褐、卵形、著しく凸出せず、單眼は淡黄褐色硝子様にして複眼の中心を連ぬる直線の前方に位し、間隔は其の直線の五分の一に等し。

前胸背は六角形、著しく前方に傾斜し側縁角は鋭角なり (*T. angulata* Mats. に在りては直角よりも僅かに小)、長さは側縁角の頂點間の幅の四分の一よりも短かし、後縁は弧狀に刻らる、點刻は粗大にして側縁角上のは淺し、側縁角の前縁は黄褐、後縁は暗褐色を呈す。小楯板は淺き横皺及び後方にへ状の凹線を具ふ長さは前縁に等し。

前翅に暗褐色、稍半透明、但し前縁脈に沿ふて基半部は綠色、粗なる點刻を密布す、翅脈は不明瞭なり。

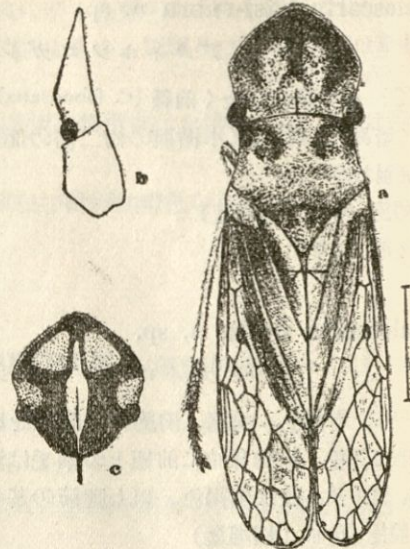


Fig. 2
コバミ、ヅク (著者原圖)

體下は一様に淡黄綠色、顔は凹陷し觸角の基部に二縦隆起線を具ふ、複眼は下面に於てのみ有柄なり。中胸下は著しく凸出し、中央は谷形に凹陷す、口吻はその中央に達す。

體長 15mm. (翅端迄)

產地 阿里山。

附記 ヒラタミ、ヅク (*Tituria angulata* MATS.) に酷似すれども前胸側縁角の著しく鋭角なる事、前翅の暗褐色なる事等に依りて區別す。

Family JASSIDAE 横這科

Kunasia hyalinata, n. sp. スキバコガシラヨコバイ
(Pl. fig. 6, a, b.)

(♀) 淡黄褐色、光澤あり。頭部の前縁弧狀にして複眼の外縁と同一の弧上に在り、頭長は幅(複眼を含む)の三分の一、複眼間の最短距離は頭幅の四分の一に等し。頭頂はクリーム色、中央に細き褐色の1縦線、及び後縁の稍前方より多少彎曲して複眼の少しく前方に達する二斜線あり。複眼は黒褐色にして大。内側は斜斷狀を呈す。

前胸背は大、幅は頭幅の二倍、長さは頭長の二倍半あり、中央は圓く隆起し、細き縦溝及び絹様の粗毛を具ふ、側縁は弧狀にして白色の短毛を密生す。小楯板は頭長と同長にして兩側には白色、刷子狀の剛毛を裝ふ。

前翅は僅かに黄味を帶ぶれども全く透明、腹背上の大なる褐紋を明かに透視し得べし。翅脈は淡褐色にして同色の短毛を粗に裝ふ。

額は褐色、頬は灰白色にして幅廣し、口吻は淡褐色、短かし。體下及び肢は褐色、中胸下及び中、後兩脛節は黒色、肢に長き剛毛を具ふ。

體長 8mm. (翅端迄)

產地 臺東、阿里山。

Family EUPTERYGIDAE 姬横這科

Homa elongata n. sp. ヅキンヒメヨコバイ
(Pl. fig. 7.)

(♀) 淡黄綠色。頭部は大にして前縁(複眼を含む)は半球狀を呈す、後縁は弧狀に刻られ、幅は前胸背よりも僅かに廣く、長さは前胸背に等し。

複眼は著しく大、頭部の大部分を占め、稍暗色、周縁は綠色、頭頂の前縁に二箇の小緑紋を横列し、中央に大なる橙綠色の一紋及び前縁に達せざる細き一縦溝を具ふ。

前胸背の後縁は前縁に平行して弧狀に刻られ、中央に太き八字形の橙褐紋あり。小楯板は前胸背と殆んど同長にして前縁角の一小部分を除く外は一樣に橙褐色、中央より稍後方に一横溝を具ふ。

前翅は稍綠色を帯び半透明、甚だ細く長さは幅の約九倍あり、内片の内縁は廣く橙黄色、前縁の約三分の二は廣く琥珀色を呈す。

體下は半透明なる白色、觸角の基部、前腿節の外半及び脛節、後脛節の基半部は淡黄、各脛節の外半及び附節は青綠色なり。後脛節には半透明に剛刺を具ふ。

體長 4.3mm. (翅端迄)

產地 嘉義。

Family FULGORIDAE 枇杷蟬科

Fulgora spinolae WESTWOOD. ベッコウビハハゴロモ (Pl. fig. 9, a, b.)

(♂) 美麗なる橙黄色。頭部は長く延長し前半は著しく上方に彎曲す、先端は徐々に細まる、中央に三縦隆起線を具へ、黒色、先澤あり、複眼の内側に於ける短かき縦線及び下面は黄白色なり。複眼は褐色、凸出す。

前胸背は略三角形、幅狭く、後縁は前縁と平行す。複眼の後方に於ける一横紋及び中央の幅廣き縦紋は黒色。中胸背は前胸背の約二倍の長さあり、中央に三縦隆起線を具へ、兩側のもの八字形を爲す。中央の倒三角形の大紋、前縁の兩側の一小紋、側縁に平行せる！形の一紋は黒色なり。

腹背は橙黄色、斑紋を缺く、尾端は僅かに暗色を帯ぶ。

前後翅共に橙黄色光澤あり。前翅は基半部に二三の黒横紋を裝ふ、中央のものは最も幅廣く、外側のものは夫れの幅の半分に等しく、他は翅底に存す。外半部は黒色、圓紋より成る横列紋を裝ふ、中央のものは最も大にして四(時として隣接せるものと融合す)箇の紋より成り、外側のものは外縁と略平行し四箇の小紋より成る、又内側のものは三箇より成り略外側のものと同大なり、是等の圓紋は橙黄色なれども内部は濃色なるを以て稍眼狀に近し。翅脈は一樣に橙黄色なり。後翅の約三分の一外端は黒色、翅脈

は此の部分のみ黒色なり。

體下は淡橙黄色、口吻、後胸側の一紋、前中肢の脛節及び附節は黒色、後肢の脛節は外側に六刺を具ふ。

體長 40mm. 開長 80mm.

產地 臺灣(未記録種)

分布 China, Yunnan.

Saiva formosana n. sp. ヤリハゴロモ

(♀) 頭部は複眼の前方に於て急激に細まり、後方に水平に延長し、尖端は稍上方に彎曲す。頭頂は細長き五角形にして、周圍及び中央に隆起を具ふ。頭頂は黄褐色延長部は暗色を帯ぶ。胸背は汚黄褐色にして、前胸背に横列する四點竝に前縁角上の一紋は黒色。稜狀部の前縁に於ける楔形の四紋、及び側縁の一紋は同様黒色なり。後胸背及び腹背は黒褐色、各腹節の後縁は細く淡褐色を帯ぶ。體下及び肢は暗黄褐色、前中肢の附節は黒褐色。腹下面は暗色を帯ぶ。前翅は淡き赤褐色、前縁は淡綠色、全面に暗褐色の小紋を散布し、外方約四分の一は暗褐色、此の部分に約十箇の黄褐色小圓紋を散在す。翅脈は帯緑褐色なれども翅端暗褐色の處に於ては黄褐色なり。後翅は暗色、基半部に灰白半透明の不規則なる縦紋を裝ふ。

體長 頭頂より尾端迄20mm. 延長部共30mm. 開張53mm.

產地 恒春。

Pyrops cihnensis DISTANT. テングハゴロモ

(Pl. fig. 8.)

1893 *Pyrops chinensis* Dilst. Tr. Ent. Soc. 448.

(♀) 灰褐色、頭、胸及び前翅上に多數の小黑點を散在す。頭部は延長すれども上反せず、複眼の前方より徐々に細まり、前縁は斜斷狀に終る。複眼は後縁の少しく前方存じ突出せず。

前胸背は梯形、前縁は弧狀に突出し、後縁は夫れに平行す。中胸背は前胸背の二倍よりも少しく、短かく前胸背と共に頭部よりも密に小黑點を散在す。

後楯板及び腹背上には小黑點を缺き、腹節の後縁は細く黄褐色を呈す。前翅は灰褐、不透明、翅脈は網狀にして淡褐、一面に小黑點を數在す、

後翅は乳白、半透明。

頭部の下面は全く表面と同様、顔の周囲は隆起す。肢は灰褐色なれども跗節は青色、腹下は黄褐色。

體長 32mm. 開張 58mm.

産地 恒春 (Koshun) 未記録種

分布 China (Chia-Hou-Ho), India (Nága Hills.)

Lycorma meliae n. sp. ウスベニハゴロセ

(Pl. fig. 10, a, b, c.)

(♀) 頭部は小、複眼の後縁及び頭頂の周縁に隆起線を具ふ。前端は三角形に細まり殆んど頭頂と直角に上反す。頭頂は暗褐色、複眼は褐色。

前胸背は稍六角形、複眼の後方は深く割られ、側縁は鋭角に突出す、長さは幅の約五分の一にして中央及び側縁に隆起線を具へ、暗褐色。中胸背は光澤無く無数の淺き袖刻を具ふ、中央にも縦隆起を具へ兩側のものは八字形にして内側に彎曲す、側縁の隆起は著名なり。

腹背は光澤ある黒色、中央は縦に隆起す。

前翅は赤褐、外方五分の二は黒色、此の部分の翅脈は網状にして赤褐色、基部五分の三上には黒色の不規則なる圓紋を散らし翅脈は黒色なり。此の黒紋は左右對稱ならず。後翅は淡紅色、外端三分の一は暗色、中央に長き一線を具へ延長して外端の暗色部と合す、又内縁に近く約六箇の圓紋を裝ふ、是等は何れも淡色なり。

體下黒色、額は中凹にして兩側及び中央に二本の縦隆起線を具ふ。額片は中高にして額と略同長なり、口吻は甚だ長く、後肢の基部を過ぐ。肢は一樣に黒色、後脛節の外側に三箇の刺を具ふ。腹下は黒色、生殖器は紅色なり。

體長 17mm. 開張 58mm.

産地 臺北(新店)、太平山、大坪、

附記 *Nymph* (fig. 10-c) は橙赤色、背面に四對の黄點あり、肢は黒色、白點を散在し、頭部は著しく延長す。若き時代には黒色にして白點を散在す、成蟲と共にタイワンセンダン (*Melia Azederach* L.) に普通なり。

Licorma olivacea n. sp. アラシタハゴロモ

(♀) 體の構造は前種と同様なれども下の如き差異あり。

1. 頭頂は全く黒色。
2. 前胸背の中央大部分は汚暗綠色。
3. 前翅はオリーブ色、楕圓紋上に白粉を裝ふ。
4. 後翅は青色。
5. 觸角の基部は黄褐色。
6. 腹部の側縁橙赤色、數箇の白點を裝ふ。

體長 16mm. 開張 52mm.

産地 タツタカ。

Explanations of Plate and Text-figures.

Text fig. 1. *Hindoloidea formosana*, n. sp. マルトゲアハフキ

a. Side view. b. Dorsal view. c. Frontview of head. d. Side view of posterior half. e. Tegmen. f. Wing.

Text fig. 2. *Ledra tuberculata*, n. sp. コブミ、ヅク

a. Dorsal view. b. Side view of head and pronotum. c. Face.

Plate

Fig. 1. *Maurya laticornis* n. sp. ツノナガトビイロツノゼミ

a. Side view. b. Front outline.

Fig. 2. *Gargara dorsimacula* n. sp. モンキマルツノゼミ

a. Side view. b. Tegmen.

Fig. 3. *Tricentrus elongatus*, n. sp. ホソコツノゼミ

a. Front view. b. Side outline.

Fig. 4. *Caloscarta formosana*, n. sp. ホソコガシラアハフキ

Fig. 5. *Tituria fuscipennis*, n. sp. ウスグロヒラタミ、ヅク

a. Dorsal view. b. Side outline.

Fig. 6. *Kunasia hyalinata*, n. sp. スキコガシラヨコバイ

a. Dorsal view. b. Face.

Fig. 7. *Homa elongata*, n. sp. ズキンヒメヨコバイ

Fig. 8. *Pyrops chinensis*, DISTANT. テングハゴロモ

Fig. 9. *Fulgora spinolae*, WESTWOOD. ベッコウビハハゴロモ

a. Dorsal view. b. Side outline, showing cephalic process.

Fig. 10. *Licorma meliae*, n. sp. ウスベニハゴロモ

a. Dorsal view. b. Side outline. c. Nymph, h ull grown.